

新しく生まれ変わる川越の歴史的建造物の愛称投票をしよう！

—旧川越織物市場から文化創造インキュベーション施設へ—

川越市では、かつての川越織物産業の象徴であり、市指定文化財である「旧川越織物市場」と「旧栄養食配給所」を保存・活用した「川越市文化創造インキュベーション施設」の開設を、令和6年春に予定しています。

この施設は、地域経済の活性化を担うクリエイターの創業を支援するとともに、地域の方や来訪者との交流を通じて川越の新たな価値を生み出す拠点となることを目指します。

この施設への期待を込めた皆様からのご投票をお待ちしています！

>>> [施設の詳細は裏面に！](#)



整備後の施設正面イメージ図

【施設愛称候補】

No.	愛称候補	意味・理由
1	(おってかわごえ) OTTE川越 (OTTE KAWAGOE)	人と人との関係や新しい物事を織りなす（創っていく）ことを「織って」と、呼び掛けるような名称にしました。愛称の由来を知らない人にも聞き心地がよく、この施設が緩やかに馴染んでいくことを期待しています。
2	(こえとこ) コエトコ (KOETOKO)	新しい地域価値の創造や地域課題の解決という、この施設のコンセプトを、今あるものを「越え（コエ）る場所（トコ）」という意味の名称に決めました。「コエトコ」という音の響きに優しさや気軽さを感じてもらうことで、利用される方に親しまれる施設となることを期待しています。
3	(かわるーぷ) KAWALOOP (カワループ)	「事業実施から課題解決までを繰り返して（ループして）いくことで地域価値を創り出していく」という施設のコンセプトと、繰り返しの作業で作られる織物のイメージを重ね、「川越」＋「変わる」＋「ループ」を示す名称にしました。人と人がつながることで、良い循環の積み重ねが生まれ、広く展開していくことを期待しています。

【投票詳細】

- 投票期間：令和5年7月22日（土）～令和5年8月14日（月）12:00
- 投票対象：市内在住・在学・在勤の方（1人1票まで）
- 投票方法：右記QRコードから川越市ホームページにアクセスして、投票フォームからご投票ください。

※紙での投票につきましては、窓口の職員にご相談ください。

※個人情報につきましては、本投票に関する事務のみ使用し、厳重に取扱います。

※投票の内容や得票数等に関する問い合わせについてはご対応いたしかねます。



QRコード

(川越市ホームページ)

【問合せ先】

川越市 都市計画部 都市景観課 歴史都市整備担当 TEL：049-224-5961（直通）

川越市文化創造インキュベーション施設とは

(住所:川越市松江町2丁目11番地10ほか)

川越市の有形文化財である旧川越織物市場と旧栄養食配給所を復原し、様々な分野のクリエイターの創業や新規ビジネスを支援する施設として活用します。

クリエイターは本施設において、地域の方や来訪者と交流しながら、地域課題の解決や新しい価値の創造に向けた活動を行います。

【建物の歴史】

旧川越織物市場は、1910年(明治43年)に、衰退に向かっていった川越の織物流通業界の起死回生策として建設された織物取引の場で、市場建築の様々な特徴を残す産業遺構です。

また、同敷地内に建つ旧栄養食配給所は、1934年(昭和9年)に近隣の中小織物工場へ給食を配給するために建設され、昭和期には工場労働者の栄養改善を目的とした同様の施設が全国的に建てられましたが、現在では、当時の姿をそのまま残す遺構として判明している中で唯一のものとなっています。

両施設ともに、その希少性の高さから平成17年に市の有形文化財に指定されています。



【文化創造インキュベーション施設の目的】

施設を利用する様々なクリエイターの活動を支援することで、市民の文化の向上と地域経済の活性化に寄与することを目的としています。

単にクリエイター個人を育てることにとどまらず、クリエイターと川越で暮らす方・働いている方との交流が、この施設で生まれていくことで、お互いに刺激を感じ、それぞれの活動がより創造的になっていった結果、ほかの「まち」にはない川越の魅力が、一層あふれていくことを目指しています。

さらに、本施設を中心にこの活動が広がっていくことで、地域課題の解決力が高まり、市全域の地域価値の広がりや新しい価値が生み出されていくことを期待しています。



【施設の主な機能】

- ① クリエイター等の育成・支援
- ② クリエイター・地域・来訪者の交流の機会の提供
- ③ 歴史・文化の発信および公開

【施設の空間構成】

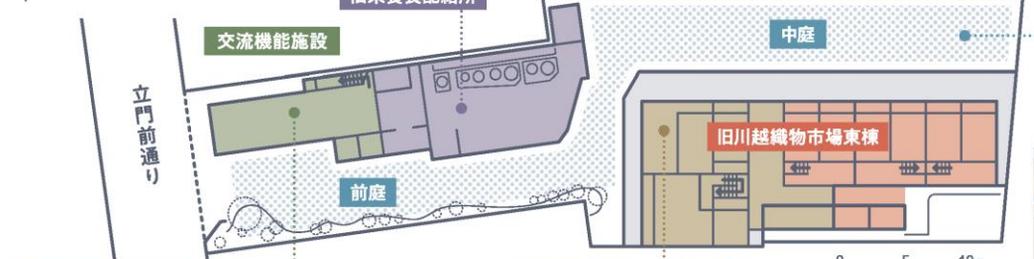
入居者が活動するクリエイティブスタジオ

入居するクリエイターのワークスペース



発信するショーケース

川越の歴史、今、未来を発信する空間



豊かな暮らしを育むパブリックスペース

暮らしを豊かにする地域の庭のような公共空間

創造的なたまり場となるホワイエ

入居するクリエイターやプロジェクト関係者、地域関係者、来訪者などが交流・団らんする空間

コミュニケーションオフィス

効果的な施設運営に向けて、運営者、入居者、地域関係者などのコミュニケーションの中心となるスペース